

## 第六章 用語及單位

調査上必要ナル用語及單位ヲ一定シテ調査ノ統一ヲ計  
レリ、而シテ其ノ一般ニ使用セラルルモノハ概ネ慣例ニ從  
ヒタレトモ本調査ニ於テ特定シタルモノ亦少カラス。今  
是等ノ主要ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

### 用語

- 一、踏査 地圖其ノ他ノ參考書類ニ依リ水力地點ノ所在  
ヲ豫察シ之ニ基キ各河川ヲ實地ニ視察シテ水力地點  
ノ價值ヲ概定シ以テ河川水力ノ利用ニ關スル概略ナ  
ル調査ヲ行フコトヲイフ
- 二、調査又ハ實測 踏査ノ結果選定シタル水力地點ニ就  
キ水量、落差、水路ノ位置等ヲ決定センカタメ、水力利用  
上必要ナル事項ヲ測量調査スルコトヲイフ
- 三、水力地點 水力ヲ發生セシメ得ヘキ場所ノ謂ニシテ  
通常取入口ヨリ放水口マテヲ含ミ沼湖ヲ利用シ又ハ  
貯水池ヲ築造スル場合ニハ之ヲモ含ム
- 四、觀測 氣象又ハ水位ヲ調査ヲ行フコトヲイフ、而シテ  
降水量、蒸發量、氣溫、風向、風力等ノ觀測ヲ行フモノヲ氣

象觀測ト稱シ、降水量ノミノ觀測ヲ行フモノヲ雨量觀  
測トイフ

五、測水 河川流量ノ調査ヲ行ハンカタメ之ヲ實地ニ就

キ測定スルコトヲイフ

六、流域 或地點ノ流域トハ地表上ノ分水線ヲ以テ圍繞  
セラレ其ノ地點ニ流下スヘキ雨雪ノ降下スル地域ヲ  
イフ

七、雨量又ハ降水量 雨雪、雹、霰其ノ他地上ニ降下スル水

ノ總量ナリ

八、水位及流量 水位トハ或基準面ヨリ水面マテノ高サ  
ニシテ流量トハ河川ノ或橫斷面ヲ一定時間内ニ流過  
スル水ノ容積ナリ、而シテ水位及流量ハ更ニ之ヲ左ノ  
數種ニ區別ス

(イ) 渴水位及渴水量 一年ヲ通シ三百五十五日之ヨリ

下ラサル程度ノ水位及流量

(ロ) 低水位及低水量又ハ九箇月水位及九箇月流量 一

年ヲ通シ二百七十五日之ヨリ下ラサル程度ノ水位

及流量

(ハ) 平水位及平水量又ハ六箇月水位及六箇月流量 一

年ヲ通シ百八十五日之ヨリ下ラサル程度ノ水位及

- 流量
- (ニ) 高水位及高水量 毎年一、二回起ル出水時ニ於ケル水位及流量
- (ホ) 洪水位及洪水量 三、四年ニ一回起ル出水時ニ於ケル水位及流量
- (ヘ) 平均濁水位、平均低水位、平均平水位及平均濁水量、平均低水量、平均平水量 前各號ノ水位及流量ヲ數年間ニ互リ平均シタルモノ、例ヘハ何年間平均濁水量ノ如シ
- (ト) 最濁水位、最大洪水位及最濁水量、最大洪水量 既往ノ事實、里人ノ記憶又ハ口碑等ニ依リ判定シタルモノ
- (チ) 幾何日流量又ハ幾何月流量 一箇年ノ内若干日又ハ若干月之ヨリ下ラサル程度ノ流量
- 九落差 取入口及放水口ニ於ケル平水位ノ差ニシテ左ノ二種ニ區別ス
  - (イ) 總落差 取入口及放水口ニ於ケル河川平水位ノ高サノ差
  - (ロ) 有效落差 總落差ヨリ取入口、水路、水槽及水壓管等ニ於ケル損失落差ヲ控除シタルモノ

- 一〇、馬力數 馬力數ハ總テ理論馬力數ニシテ場合ニ依リテハ之ヲ左ノ數種ニ分ツ
  - 濁水馬力 河川ノ濁水量ニ依ル馬力數
  - 低水馬力 河川ノ低水量ニ依ル馬力數
  - 平水馬力 河川ノ平水量ニ依ル馬力數
 以上ノ馬力數ハ總テ左ノ式ニ依リテ算出シタルモノトス
  - 理論馬力數  $\parallel$  濁水  $\times$  有效率  $\times 0.111$
  - 一、發電力 發電所ノ出力ニシテ左ノ式ニ依リテ算出シタルモノトス
    - 理論力  $\parallel$  理論馬力數  $\times 0.55$
  - 一二、發電能率 一箇年ヲ通シテ利用シ得ヘキ平均馬力數ト最大馬力數トノ比ヲイフ(第九章第六節參照)
  - 一三、風力 本調査ニ於テハ風力ノ測定ハ目測ニ依リ左ノ數種ニ區別シ數字又ハ名稱ヲ以テ其ノ強弱ヲ示セリ
    - 風力 名稱 意 義
    - 〇 靜穩 煙全ク直上シ樹葉動カサル程度ノモノ
    - 一 和風 樹葉ノ動ク程度ノモノ
    - 二 強風 樹木ノ大枝ノ動ク程度ノモノ

三 颶風 家屋ノ大破ヲ來シ樹木ヲ倒ス程度ノモ

一四、風向 風向ハ左ノ八種ニ區別ス

北、北東、東、南東、南、南西、西、北西

單位

單位ハ左記ノ如ク主要ナルモノニ就テ之ヲ一定シ爾餘ノ諸單位ハ適宜之ヲ定メタリ

雨量 ミリメートル(耗) 氣溫 攝氏ノ度

蒸發量 ミリメートル(耗) 流域 方里

流速 每秒尺 流量 個(毎秒立方尺)

落差 尺 馬力數 理論馬力

發電力 きろわつと 水位 尺

發電能率 ぱーせんと(%) 徑 深 尺

水深 尺 堰ノ寸法 尺

潤邊 尺 堰ノ水頭 尺

勾配 何分ノ一 送電距離 哩

土地ノ高低及標高 尺 河川及水路ノ長サ 間

測量線ノ長サ 間 河川及水路ノ斷面積平方尺

河川及水路ノ幅 測水ニ關係アルトキ 尺

其ノ他ノトキ 間

第七章 水力地點

第一節 水力地點ノ選定

一、踏査 全國ノ河川ニ互リ水力利用ノ價值ヲ定ムルタメ先ツ圖上ニ於テ豫察ヲ行ヒ然ル後各河川ニ就キ實地ニ踏査視察シテ水力地點ノ選定ヲ行フト同時ニ河川流量ノ調査ヲ行フヘキ測水所、量水標ノ位置並雨量觀測所、氣象觀測所等ノ位置ヲ精査決定シ直ニ調査上必要ナル設備ヲ施セリ。豫察ハ陸地測量部出版五萬分ノ地形圖其ノ他之ニ準スヘキ地圖ニ依リ、尙踏査ノ際ニハ左記事項ノ概要ヲ調査シ豫メ其ノ一般ヲ窺知センコトヲ期セリ

- (イ) 河川流域ノ地形、地質、林野狀態、沼湖ノ有無等
- (ロ) 河川ノ狀況及流量ノ變化並水力ヲ利用シ得ヘキ範圍及其ノ落差
- (ハ) 治水灌漑、排水、舟筏、流木、漁業其ノ他ノ水利事業

河川流域内ノ地質ハ農商務省出版ノ圖書ニ據リ其ノ地形ハ陸地測量部出版地圖並北海道廳出版ノ地圖ニ準據シタル所多シ